

40-12

昭和十年十月

大阪府下ニ於テ農村事情概要



国立公文書館	
分類	③ 青
配架番号	3 A
	15
	40-12

録
8

昭和十年十月

大阪府下ニ於ケル農村事情ノ概要

40-12

大阪府特別高等警察課

国立公文書館	
分類	③ 青
配架番号	3 A 15 40-12

めくれず

- (1) 小作契約ノ状況
- (2) 小作料ノ状況
- (3) 離作料ノ状況
- (4) 小作争議ノ状況

一 經 說

存下ニ於ケル農村ハ其ノ中心ニ大阪市堺市岸和田市等ノ大消費都市ヲ擁シ農作物ノ供給上又肥料ノ需要上優越セル地ノ利ヲ台メ居レルト一面其ノ子弟ヲ多ク商工業ニ稼働セシムル等ノ利便アリテ其ノ經濟ハ不尠緩和セラレ他存下ニ比スレハ一般的ニハ其ノ生活ニ相當彈力性ヲ有スト認メラル、實情ニアリ然レ共管下ニ於ケル商工業ノ刻々ノ進展ハ存下農業ニ對シ甚大ナル影響ヲ與ヘ都市ノ膨張隣接町村ノ發達交通機關ノ開設等ハ年々著シク農耕地ヲ蠶食シ農家ヲシテ次第ニ他ニ轉業ノ已ム無キニ至ラシメツ、アリテ存下ニ於ケル農家ハ逐年減少ヲ示シツ、アリ殊ニ存下ニ於ケル農耕地面積ハ農家戸數ニ比シ甚ク狹少ニシテ農家ノ耕作及別ハ一時未滿ノモノ實ニ八割ニ分七厘餘ニ達シ而モ經濟事情ノ變遷地主ノ資本家化ハ土地ノ大地主集中不在地主ノ増大ヲ來シ存家農家總戸數中小作農ハ自作兼小作農ヲ加ヘ七割五分五厘ヲ示シ

存下ニ於ケル農村事情ハ他存縣下ノ夫レニ比較シ全ク
 特異ノ家園氣ノ中ニアリト謂フ得ヘク
 更ニ近時農村ノ一畝酌不況特ニ昭和六年以降ニ於ケル
 米穀其ノ他農産物價格ノ低落ハサナキタニ收入僅少ナ
 ル農家經濟ノ苦境ニ益々拍車ヲ加ヘツ、
 並ニ警察査察上特ニ留意ノ要アルヲ認メラル
 存下ニ於ケル農家戸數

(1) 農家戸數ノ増長

存下ニ於ケル農家總戸數ハ昭和九年未現在ニ於テ
 八、九、八、四戸
 ニシテ又ヨリ寛下全戸數ノ七、七、一、六戸ヨリ觀レハ
 僅カ其ノ一〇、六、六、〇ニ過ギス
 而シテ商工業ノ發展ニ伴フ都市ノ膨脹ニ連レ猶逐年
 減少ノ一途ヲ辿リ昭和四年以降年々五、八、八、一、一
 五、一戸合計四、二、一、一、一戸平均
 七、一、〇戸

(2) 業態別ノ減少ヲ示シツ、アリ

存下ニ於ケル農家總戸數中農業ヲ專業トスルモノ

後業工業其ノ他ヲ兼業ノモノ

更ニ之ヲ自作及小作ノ別ニ分類スルトキハ

自作	小作	自作兼小作
一、九、一、八四戸	三、八、二、一一戸	二、四、五、七九戸

ニシテ又存下ト畧々同數ノ農業戸數ヲ擁スル滋賀、石川、
 秋田、青森、和歌山、香川、宮崎ノ各存縣ノ状態トヲ對比ス
 ルニ農家總戸數中

自作	小作	農
二、九、〇、三%	二、九、一、六%	四、五、五、三%

(他存縣平均) (當存下)

自作兼小作農 三二六七% 二九九六%
 / 數字ヲ示シ下ニ於ケル農家ハ全國的ニ之ヲ覆ル
 モ着シク小作農家數ノ大ナルヲ知ルヲ得ベク是レ畢
 竟農村ニ於ケル經濟事情ノ變遷ニ因ル不在地至ノ増
 大ヲ如實ニ認ルモノニシテ農村事情ノ查察上特ニ活
 目ノ要アリト認メラルル

下總戸數ニ對スル農家戸數 (特殊ニ從事セザル地主ヲ除ク) (一九二〇年度)

市郡別	總戸數	農家戸數			總戸數ニ對スル比率
		専業	兼業	計	
大坂市	五二八七六三	二六九四	一六三三	四三二七	〇・八二%
堺市	二八五三四	三四一	一五一	四九二	一・七〇%
岸和田市	七六〇〇	二〇〇	九四	二九四	三・八七%
三島郡	二八〇〇八	天三三七	三〇〇九	九三六六	三・三四%
豊能郡	二二三一八	四三七二	一五八九	五九六一	二・五五%
泉北郡	二九一四八	六八八二	五七一三	一二五九五	四・三二%
泉南郡	二九二一三	六六七九	四二七四	一〇九五三	三・七四%
南河内郡	二五九八八	一〇〇〇一	五一八七	一五一八八	五・八四%
中河内郡	四三六三九	八三三	四三一三	一五六九六	二・九〇%
北河内郡	二二九三七	七〇三六	三〇七六	一〇一一二	四・五〇%
合計	七六七一六九	五二九四五	二九〇三九	八一九八四	一〇・六六%

自依小作別ニ依ル農家戸數調表

(一) 年次別

年次別	種別				合計	前年度ニ對スル増減
	自依	小作	自依兼小作	合計		
昭和三年	一九三六〇	四二七三一	二四一三四	八六一六七		
昭和四年	一九八七二	四一九〇五	二四四一〇	八六一八七	減 五八	
昭和五年	一九五二三	四一五三六	二四七七六	八五二三五	減 四五二	
昭和六年	一九三二九	四〇八二	二四九五一	八四七六二	減 九七三	
昭和七年	一四一四三	三七七三五	二四九二八	八三八〇六	減 九五六	
昭和八年	二〇二三二	三七五九一	二四七三二	八二五五五	減 一二五一	
昭和九年	一八一八四	三八二二一	二四三七九	八一八四四	減 五七一	

(二) 市郡別

(九年度)

市郡別	種別				合計
	自依	小作	自依兼小作	合計	
大坂市	七二一	二九八	六〇八	四三六	
堺市	八〇	二五四	一五八	四九二	
岸和田市	五四	一七五	六五	二九四	
三島郡	二三一	四一五	九三九	九三六	
豊能郡	一六四	二四七	一八三	五九六	
東山郡	三〇	五四九	一〇九	一五九	
泉南郡	三四一	三八〇	三七三	一〇九五	
南河内郡	三五五	六五三	五〇九	一五一八	
中河内郡	三二二	七六七	二八〇	一三九九	
北河内郡	六一七	四七〇	三二八	一〇一五	

小作地

田 地 三九、四八一町五反
 畑 地 四、九七六町三反
 合計 三四、四五七町八反

ニシテ田畑ヲ通シ小作地ハ總耕地面積ノ五割九分餘
 自作地ハ四割餘ニ當リ之ヲ存下農家總戸數八一、九八
 四戸ニ割當ツレハ田畑ヲ通シ一戸當リ

ニ過キスシテ
 (耕地面積)
 (農家戸數)
 (一戸當反別)

東京府	五〇、二二六町六反	六、一三〇戸	八反二畝強
京都府	六〇、二〇四町七反	七、九七八戸	七反五畝強
神奈川縣	六九、四〇八町二反	七、七九二戸	八反九畝強
滋賀縣	七九、三八町六反	八、五四五戸	八反九畝強
石川縣	七二、六五四町二反	八、三三九戸	八反九畝強
秋田縣	一四三、五六七町七反	九、四〇四戸	一町五反二畝強
青森縣	一三一、九三七町一反	八、七四三戸	一町五反一畝強

和歌山縣

和歌山縣 四九、四九五町四反 八〇、四二二戸 六反一畝強
 香川縣 五一、一六一町七反 八七、五一戸 五反八畝強
 宮崎縣 九三、三六四町七反 八一、四九一戸 一町一反四畝強

等ノ他府縣下ノ状況ト比較スルモ存下ノ農耕地面積
 ハ農家戸數ニ對シ最モ狭小ナル部ニ屬セリ更ニ存下
 農家ノ實際上一ノ耕作状況ヲ見ルニ昭和九年未現在ニ
 於テ

(總戸數ニ對スル比率)

耕作地五反未満ノモノ	三六、五〇九戸	四四、五三%
耕作地五反以上ノモノ	三一、三三三戸	三八、二四%
耕作地一町以上ノモノ	一一、七一〇戸	一五、五〇%
耕作地二町以上ノモノ	一、一五五戸	一、四一%
耕作地三町以上ノモノ	二、二六戸	〇、二七%
耕作地五町以上ノモノ	三、一戸	〇、〇〇三%

ノ状況ニシテ互ヲ前記ノ當存ト畧々同一ノ事情ヲ有
 ラ又ハ畧々同數ノ農家戸數ヲ擁スル他府縣下ノ夫レ
 トヲ比較スレハ (昭和八年未現在)

(他府縣平均比率) (當存下ノ比率)

耕作地五及未満ノモノ	三六、〇〇%	四五、〇一%
耕作地五及以上ノモノ	三五、三三%	三八、一五%
耕作地一町以上ノモノ	二二、七二%	一五、一〇%
耕作地二町以上ノモノ	五、二四%	一、四一%
耕作地三町以上ノモノ	一、六〇%	〇、二七%

ニシテ存下農家ノ農耕状態ハ著シク小規模ナルヲ知ルヲ得ヘク

殊ニ存下農家ノ殆ト大半カ耕作地五及内外ノ小農家ナルト又一面前述ノ如ク著シク小作農家ノ多數ナルトハ相俟ツテ他府縣下ノ農村事情ニ比照シ特種ノ情勢ニ在ルヲ容易ニ豫想シ得ヘシ

(3)

休閒耕地ノ状況
前記ノ農耕地ノ外地主カ耕地ヲ全然耕作ニ利用スルコトナク專ラ住宅ノ經營又ハ工場ノ敷地等ニ供スヘク特種セシメ居レル休閒地ハ大正末期以後ノ經濟界ノ好況ニ乘リ益々増大ノ傾向ニアリタルカ昭和五、六

年以來ノ不況ニヨリ漸次減少シ然況ニ在ルモ現在猶

大政市ヲ中心トシテ田畑ヲ通シ
一、一四、〇町九反

ニ及ヒ居レリ

耕作地ノ廣狹ニ依ル農家戸數

年次別	種別	農家總戸數		五反未満		五反以上		一町以上		二町以上		三町以上		五町以上	
		戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率
昭和三年		八六,三四五	四〇,三七七	三三,五五五	三三,五五五%	二二,五五五	三三,五五五%	一一,三三三	四〇,一	九,五五五	二二,一	二,一四	二,三五	五,五	
昭和四年		八六,一八七	四〇,四六一	三三,四九八	三三,四九八%	二二,〇〇〇	三三,四九八%	一一,五七二	三三,四九八%	九,六	二,一	二,〇五	二,〇五	三,三	
昭和五年		八五,七三五	三九,四九八	三三,〇〇二	三三,〇〇二%	二二,四九	三三,〇〇二%	一一,〇二七	三三,〇〇二%	九,五二	二,一	二,一七	二,三五	四,二	
昭和六年		八四,七六二	三九,四六六	三二,三二八	三二,三二八%	二二,四	三二,三二八%	一一,七〇三	三二,三二八%	一〇,一四	二,一	二,一	二,三五	四,〇	
昭和七年		八三,八〇六	三八,二三七	三二,九〇七	三二,九〇七%	二二,九	三二,九〇七%	一一,二二九	三二,九〇七%	一〇,二	二,一	二,一	二,三五	四,〇	
昭和八年		八二,五五五	三七,一六四	三二,四九六	三二,四九六%	二二,八五	三二,四九六%	一一,四七三	三二,四九六%	一〇,七五	二,一	二,一	二,三五	三,〇	
昭和九年		八一,九八四	三六,五〇九	三二,三三三	三二,三三三%	二二,四	三二,三三三%	一一,七七一	三二,三三三%	一〇,七五	二,一	二,一	二,三五	三,一	

(一) 市 郡 別 (九 年 度)

種別	農家總戸數	五反未満		五反以上		一町以上		二町以上		三町以上		五町以上	
		戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率	戸數	比率
市	四三,二七	二四,六六	五九,九%	一四,二四	三二,九%	四,一三	九,五五%	二,三	五,三%	一	二,三%		
大 阪 市	四九,二	二二,五	四五,七%	一五,三	三〇,九%	三,七	七,六%	一,〇	二,一%	二六	五,八%		
岸和田市	二九,四	一六,五	五六,一%	九,九	三三,七%	三,〇	一〇,二%	一	三,四%	二六	五,八%		
三 島 郡	九,三六六	三,三九五	三六,〇%	三,四〇八	三六,九%	六,四〇三	六八,五%	一,三六	一四,五%	一八	九,九%		
豊 能 郡	五,九六一	二,二七七	三八,九%	二,八七七	四八,一%	七,七五	一三〇,〇%	一,五	二五,〇%	五	一,一%		
泉 北 郡	一六,五九五	六,八九四	四一,九%	四,三一九	二六,五%	二,一	一二,七%	一,三五	一〇,七%	四	二,四%		
泉 南 郡	一〇,九五三	四,七一一	四三,三%	四,三一九	四三,九%	二,六六九	二七,一%	一,八〇	一六,四%	四	四,〇%		
南河内郡	一五,一八八	七,七九七	五一,五%	五,九五六	三六,八%	一,三一一	八,六%	九,六	六,三%	四	二,六%		
中河内郡	一六,六九六	五,二八九	三一,七%	五,三二五	三二,〇%	一,八七〇	一一,二%	一,八八	一四,八%	二	一,二%		
北河内郡	一〇,一一二	三,三八九	三三,二%	三,四五一	三三,二%	六,九九九	六九,五%	三,二一	三二,七%	四	四,〇%		

ニシテミテ、價額ニ換算スレハ
 二天、一七、七、四、四、四
 ミ、マ、米、作、總、戸、數、七、二、五、七、五、戸、ニ、平、均、ス、ル、ト、キ、ハ、一、戸、當
 リ
 三、五、九、四、八、七、錢
 三、相、當、セ、リ

五 坪下ニ於ケル米作調

(1) 年 次 別

年次別	種別	依付總及別	總收穫高	價	額	反當り收穫高
大正十三年		四八、一七、三、四	九、四、七、九、四、二	三、八、八、四、五、一、三	一、九、六、八	
大正十四年		四五、三、五、八、二	一、一、二、六、一、七、五	四、二、六、一、一、二、六	二、四、八、三	
(大正十五年)		四、天、天、四、一、五	一、〇、五、二、七、五、七	三、七、六、三、二、八、五、七	二、二、五、六	
昭和二年		四、天、五、八、四、七	一、一、九、一、〇、五、七	三、五、三、七、一、四、〇、九	二、五、五、七	
昭和三年		四、四、三、一、〇、〇	一、〇、九、九、九、一、〇	三、二、五、七、二、六、一、七	二、四、八、二	
昭和四年		四、四、六、八、七、九	一、〇、九、〇、二、四、一	三、二、五、五、四、二、九、二	二、四、四、〇	
昭和五年		四、四、三、五、五、九	一、二、〇、六、五、四、九	三、三、九、五、二、五、三、四	二、七、二、〇	
昭和六年		四、一、八、〇、五、八	九、七、一、八、一、九	一、七、〇、八、四、四、八、六	二、三、二、五	
昭和七年		四、二、〇、〇、九、一	一、〇、九、五、六、九、八	二、三、〇、九、一、四、九	二、六、〇、八	
昭和八年		四、二、五、四、一、一	一、二、〇、八、七、九、八	二、六、五、二、七、五、〇、六	二、八、四、一	
昭和九年		四、一、八、四、四、九	九、一、八、五、〇、一	二、六、一、一、七、七、四、四	二、一、九、五	

二 對

收 入	米 作	一八五 円
其 他	二二七 円	
合 計	四一三 円	

支 出

農家經營費	一四三 円
其他家計費	二九七 円
合 計	四四〇 円

二シテ差引二十八円ノ支出過ヲ示シ居レリ然レ共存下農家ノ所有財産ハ大体一戸平均

自 作 農 八、五、一、六 円

自 作 兼 小 作 農 五、四、五、五 円

小 作 農 二、三、四、四 円

之ニ對スル其ノ負債額ハ最近ノ調査ニ據レハ存下ノ農家總負債額五千萬円農家一戸平均約六〇五円

ニシテ之ヲ他存縣下ノ夫レトヨ比較スルトギハ(他存縣平均七七。四)存下農家ノ負債額ハ最少額ノ部ニ屬シ且ツ大都市ニ隣接スルコトニ因ル農業外收入ニ付キ諸種ノ利便アル爲其ノ生活ニ於テハ相當彈力性ヲ有スルノ實情ニアリ

農村負債額調 (昭和七年末)

地 方 別	負 債 額	農 家 戸 數	一 戸 當 平 均
東 京	四五〇〇〇〇〇〇	六一一〇	七三六
京 都	六八四八〇〇〇〇	七九七八	八五八
大 阪	五〇〇〇〇〇〇〇	八二五五	六〇五
神 奈 川	天五〇〇〇〇〇	七七九二〇	八三四
青 森	八一三五一七	八七四三七	九三
秋 田	一七六五三〇〇	九四〇四二	一八七七
石 川	五八三四四五	八一三三九	七二七
滋 賀	天五六九六二二	八八五四五	七四二
和 歌 山	五〇〇〇〇〇〇	八〇四一二	六二一
香 川	五五四八七〇	八七五一	六三四
宮 崎	天一四七四八五	八一四九一	七五三
合 計	七〇四一八九〇	九〇二一六一	八四七一
平 均	六一〇一六四五三	八二〇一四	七七〇

天存下ニ於ケル小依問題ノ概況

(1) 小依契約ノ情況

往時ノ地至小依人間ノ關係最モ親密ナリシ時代ニ於テハ小依契約ハ單ニ口頭ニ依リテ締結セラレ居リテ小依契約ニ證書ヲ使用スルハ地主カ交替スル場合又ハ不在地主カ其ノ支配人ヲシテ土地ヲ管理セシムル場合等寧口特種ノ場合ニノミ限ラレ居タルモノ、如ク大正十年ニ於ケル存下ノ小依契約ノ狀況調査ニ依レハ口頭契約ニ依ルモノ又ハ何等ノ形式ナキモノハ割ニ對シ小依契約證書ニ依ルモノハ割ニ割ニ過キス而モ小依證書ニ依ルモノト雖モ兩者ハ共ニ慣行事實ヲ記載セル形式トシテ其ノ証書面ニ表レタル事項等ニ對テハ敢テ互ヲ探究スル等ノコトナキ情況ニアリタリ

然ルニ大正中年以來ノ小依爭議ノ激發ト一般人心ノ

思想的變化ニヨリ在時ノ地主及小作人間ノ感情の關係ハ一變シ小作人ハ結束シテ小作料ノ減免ヲ要求シ地主ノ土地返還要求ニ對シテハ

(1) 租先傳來耕作ヲ繼續セルコト

(2) 從來小作權ノ賣買又ハ轉貸ヲ地主ハ容認セルコト

(2) 小作料ノ情況

ハ) 小作權ノ賣買價格ノ高キコト

ニ至リテ自然地主ニ法約自覺ヲ促シ其ノ結果ハ感情の小有關係ノ放擲短期限附小作契約ノ改訂トナリ往時ノ殆ト期限等ノ定メナク實質的ニ永久小作ノ狀態ニアリタル小有關係ハ勿論明治三十一年民法制定施行當時ニ於テ永久小作契約ノ締結アリタルモノト雖モ順次其ノ後解消セラレ從來ノ小作契約ハ其ノ機會アル毎ニ悉ク短期限附貸借契約ニ改訂セラレ、アル現狀ニ在リ

明治十八年西成郡沿海新田ニ於ケル小作料調査ニ基クテ文献ニ據レハ存下ニ於ケル小作料ハ所謂三公七民ヲ基準トセルモノ、如ク即チ收穫高ノ三割ヲ公租ニ充テ其ノ殘高ヲ地主及ヒ小作人ニ依リ率分セラレタリモノニシテ從テ其ノ小作料ハ甚々高率ナリシモト據ルハキモノナク甚々詳カナラサルモ要スルニ時代ノ變遷ト共ニ漸次小作料率ハ低下ラ照和七年ニ於ケル調査ヲ視ルニ田地一及當リ平均契約小作料ハ

南河内郡	一	三	一	石
泉南郡	一	一	七	石
泉北郡	一	二	三	石
豐能郡	一	二	二	石
三島郡	一	三	四	石
岸和田市	一	三	五	石
堺市	一	三	〇	石
大坂市内	一	三	七	石

中河内郡

一四六石
一三〇石

總平均一石三斗餘ニシテ大体米總收穫高ノ五割乃至
 六割ヲ基準トセラレ居レリ而シテ前述小作料ハ所謂
 契約小作料ニシテ存下ニ於テハ小作料ノ常免ト唱ヘ
 至トシテ小作爭議ノ結果小作人ノ要求獲得ニ依ルモ
 ノナルカ或ハ地主ノ要免酌減額ニ依リ其ノ收穫ノ豊
 凶ニ拘ラス契約小作料ヨリ一割乃至二割ヲ減額スル
 等ノ慣行アリテ實納小作料ハ大体田地一及當リ一石
 一斗ニシテ總收穫高ノ四割乃至五割ナル實情ニ在
 リ
 又ヨ他府縣下ノ状況ト比較スルニ最近ノ調査ニ於テ
 ル全國小作料平均ハ
 一石一斗一升
 ニシテ而モ本平均小作料ニハ北海道及口東地方ノ
 如ク特ニ低率ナル小作料ヲモ包含シ居レルヲ以テ又
 寧ノ地方ヲ除外シ對照スルトキハ全ク其ノ差異ヲ認

事ヲレザル状況ニシテ大都市ヲ擁シ諸種ノ有利ナル
 條件ヲ有スル事情寧ヨリスレハ寧口小作料率ハ一畝
 約ニハ高率ニ非ラスト思考セララル、状態ニ在リ
 殊ニ存下ニ於ケル市郡及市周圍部ト其ノ他ノ郡部ト
 ノ小作料ノ状況ヲ視ルニ其ノ實際小作料ニ於テハ交
 通ノ便アリ金錢的収入ノ價值ニ富ム市郡及市周圍部
 ノ耕地ニ於テ却テ小作料ノ低下ヲ見ソ、アル實情ニ
 左ルカ之カ原因ハ畢竟郡部ニ於ケル地主カ土地ノ収
 益ヲ唯一ノ目的トスルニ及シ市郡方面ニ於ケル地主
 ハ一畝ニ資本家化シ土地價額ノ高騰ヲ中込トシ小作
 料ノ矣ニ付テハ比較的閑田増キニ因ルモノト認めラ
 ル
 更ニ存下ニ於ケル畑地ノ小作料ニ就テハ他府縣下ト
 大イニ其ノ趣キヲ異ニスルモノアルヲ以テ相當高率
 ニシテ他府縣下ノ畑地小作料カ大体田地小作料ノ三
 割乃至五割内外ニ比シ存下ニ於テハ大体五割乃至七
 割程度ノ實情ナリ

小作争議警察署別一覽表 (昭和九年十月末現在) 大阪府

區別	此花區	旭花區	在吉區	東淀川區	西淀川區	豊能郡	三島郡	堺市	泉北郡
署別	朝日橋	今福橋	平野吉	十島	大和	池田	吹高	吹高	福林
昭和七年					八		二		一
昭和八年			二	一	三	一	五		一
昭和九年	一		六	一	七	一	三	三	二

争議	手	段	結	果
主立入禁止及処分執行	共同担付又ハ別取	小學校免照ノ同盟休校	公議	交際
自治体閉ノ不慮仕	耕作又ハ放棄ノ同盟停業	商部ノ不買同盟	小作料不納同盟	銀行取付又ハ加入脱退
兵庫等時異ノ行動ナク	共	要	要	要
拒絶	撤回	撤回	撤回	撤回
協	協	協	協	協
七	五	二	四	一
六	五	八	九	二
四	三	四	六	一
五	六	三	九	二
七	六	二	九	一
七	六	二	九	一
七	六	二	九	一
七	六	二	九	一

合	北河内郡				中河内郡				南河内郡				泉南郡		岸和田市			
	淳 田	四 條 環	寺 口	杖 方	南 高 田	類 田	御 厨	三 宅	八 尾	柏 原	黒 山	古 市	長 野	富 田 林	寺 場	尾 崎	左 野	岸 和 田
六 二	一		四 四					一 三	五	一 六	二 三	四			一	一		
七 九	一	二	一	一	一	二	二	九		三 四	四	六					三	
一 二 九	四	四	三	六	一	一	一	六	一 六	二 一	一	七	五		二	三	一	